

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 6 日 (2022.1.6)

【公開番号】特開 2020-116777 (P2020-116777A)

【公開日】令和 2 年 8 月 6 日 (2020.8.6)

【年通号数】公開・登録公報 2020-031

【出願番号】特願 2019-7903 (P2019-7903)

【国際特許分類】

B 4 1 J 11/70 (2006.01)

B 6 5 H 7/14 (2006.01)

B 2 6 D 5/34 (2006.01)

B 4 1 J 2/32 (2006.01)

B 4 1 J 29/00 (2006.01)

B 2 6 D 1/30 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 11/70

B 6 5 H 7/14

B 2 6 D 5/34 Z

B 4 1 J 2/32 Z

B 4 1 J 29/00 H

B 2 6 D 1/30 5 0 1 J

B 2 6 D 1/30 5 0 1 E

B 2 6 D 1/30 5 0 1 F

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 11 月 24 日 (2021.11.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

印刷装置本体と、

前記印刷装置本体に装着されたカッター筐体と、

移動可能な第 1 刃と、

前記第 1 刃と印刷媒体を挟んで切断する第 2 刃と、

前記印刷媒体を検出する検出器と、を有し、

前記カッター筐体は、前記第 1 刃及び前記検出器を内蔵する、印刷装置。

【請求項 2】

前記印刷媒体を搬送する搬送部を備え、

前記検出器は、前記印刷媒体の搬送方向において前記第 1 刃の下流に配置される、請求項 1 記載の印刷装置。

【請求項 3】

前記第 1 刃を駆動する駆動機構と、

前記検出器の少なくとも一部を覆う保護カバーと、を備え、

前記カッター筐体の内部に、前記第 1 刃、前記駆動機構、前記検出器及び前記保護カバーが配置される、請求項 2 記載の印刷装置。

【請求項 4】

前記第2刃が前記カッター筐体の外に配置される、請求項1から3のいずれか1項に記載の印刷装置。

【請求項5】

前記印刷装置本体は、  
前記印刷媒体を収容する収容部と、  
前記収容部を覆う蓋と、を備え、  
前記第2刃は前記蓋に設けられる、請求項4記載の印刷装置。

【請求項6】

前記印刷媒体は、前記第1刃と前記第2刃との間の搬送空間を通過して前記印刷装置本体から排出され、

前記検出器は、前記搬送空間に向けて配置され、前記搬送空間における前記印刷媒体の有無を検出する光センサーである、請求項1から4のいずれか1項に記載の印刷装置。

【請求項7】

前記検出器の検出状態の取得、及び、前記搬送部および前記駆動機構の制御を行う制御部を備え、

前記制御部は、前記駆動機構により前記第1刃を駆動して前記印刷媒体を切断させ、  
前記印刷媒体の切断後に前記搬送部によって前記印刷媒体を搬送させ、  
前記印刷媒体の搬送後に前記検出器によって前記印刷媒体が検出されなければエラーが発生したと判定する、請求項3記載の印刷装置。

【請求項8】

前記検出器に接続された給電線において断線が検出された場合に、前記第1刃を動かす動作を実行しない、請求項1から7のいずれか一項に記載の印刷装置。

【請求項9】

印刷装置本体と、前記印刷装置本体に装着されたカッター筐体とを有する印刷装置の制御方法であって、

印刷媒体を前記印刷装置本体から排出する方向に搬送し、  
第1刃及び第2刃により前記印刷媒体を切断し、  
前記カッター筐体に内蔵された検出器によって前記印刷媒体を検出し、  
前記検出器によって前記印刷媒体が検出されない場合にエラーが発生したと判定する、  
印刷装置の制御方法。